

教育最前線

連載 25

● Honda おもしろツーリング&安全運転講習会 in 礼受牧場

地域社会と一体となった安全運転普及活動の定着・拡大に向けて ～ライダーの安全運転意識向上のための場づくり



Honda おもしろツーリング&安全運転講習会 in 礼受牧場【主な内容】

主催：北海道ホンダ販売(株)
 共催：本田技研工業(株) 安全運転普及本部
 後援：北海道警察/北海道留萌振興局
 協力：留萌警察署/留萌市観光協会/留萌市役所/
 麻生自動車学校/苫小牧中野自動車学校/
 苫小牧ドライビングスクール/Honda ドリーム札幌

8:00 札幌エリアの各販売店よりツーリング出発



11:30 礼受牧場 到着

13:00 安全運転講習会 開始

・白バイ隊による模範走行、講話



・養成インストラクターによる実技指導

【主なプログラム】
 バイロスラローム
 低速バランス
 狭路走行
 8の字
 ブレーキング



15:30 安全運転講習会 終了

解散 帰路へ

ホンダの二輪・汎用製品の北海道代理店である北海道ホンダ販売(株)では、年3回、道内の二輪販売会社のお客様を対象にツーリングイベント「ホンダおもしろツーリング」を開催している。7月17日、今年初となる同イベントでは、ライダーの運転技術とともに安全意識を高めることを目的に、本田技研工業(株) 安全運転普及本部との共催で安全運転実技講習会が実施された。

講習会を主催した安全運転普及本部の千葉英雄事務局長は、取り組みの背景をこう語る。「私たちは二輪メーカーとして、長年、バイクに乗る楽しさを伝えると同時に、安全運転の普及に取り組んできました。北海道での二輪車事故の増加を受け、地域の交通安全に何か貢献できないかと考えていたところ、今回ツーリングイベントとのタイアップが実現しました。これを機会に北海道での定着を図ることはもちろん、全国に活動の輪を広げていきたいと考えています。今回の取り組みがその第一歩となればと期待しています」。

当日は雨にもかかわらず、札幌エリアの各販売店のお客様を中心に約212名がメイン会場の礼受牧場(北海道留萌市)に集結。牧場内特設会場で開催された同講習会にはツーリング参加者14名が参加した。

「地域で継続的に活動できる基盤づくり」

「二輪車安全運転指導者の養成」

ホンダの安全運転普及活動のテーマは、「地域に根ざした活動」である。講習会(7月17日)では、地域の教習所指導員がインストラクターを担当した。講習会に先立ち、「今回の講習会に限らず、今後も地域で自立して継続できるように」(千葉事務局長)との思いから、二輪車安全運転指導者養成研修会を6月22、23日と2日間に行われ開催。麻生自動車学校、苫小牧中野自動車学校、苫小牧ドライビングスクールの各3校から計6名の指導員が参加した。

研修に参加した苫小牧中野自動車学校の西川直人さんは、「初心者対象の教習と熟練ライダーを対象とする講習会では、指導内容も技術レベルも大きく違います。例えば、教習所では右左折時には手前で減速を終わって、曲がる時にブレーキを使わない様に指導します。しかし、実際にはこうした指導だけでは対応できない状況も出てきます。より実践的な安全講習は事故を減らす上でとても有効だと思います」と話す。

講習会前日(7月16日)には、当日プログラムの指導者養成フォローアップ講習会が開催され、本番を想定した具体的な指導ノウハウ・スキルの伝達が行われた。麻生自動車学校で企画統括を担う木村公紀さんは、「講習コースの作り方や安全確保の仕方など、から教えていただき、大変勉強になりました。指導員も教習所ではできない高レベルな教習ができることによ

りを感じています。私たちが独自に開催しているツーリングイベントでも講習会の要素を取り入れていきたい」と語る。

「地域の教習所指導員がインストラクターとして活躍」

当日(7月17日)の講習会では、研修会に参加した6人の教習所指導員がインストラクターとして実技指導を行った。参加者は2つのチームに分かれ、低速バランス、狭路走行、ブレーキング、バイロスラロームなどのプログラムに取り組んだ。

研修会とフォローアップ講習会、また当日の安全運転講習会の指導にも当たった鈴鹿サーキット交通教育センターの出原大輔インストラクターは「教習所で培った確かな知識とスキルを持った方々なので、私たちの指導方法をそのまま行うのではなく、自分の言葉にしてポイントの確に伝える能力が非常に高いと感じました。教習所との連携は、今後地域での安全運転普及に大きな役割を果たすと確信しています」と取り組みの意義を実感したという。



講習会には午後1時にスタート。教習指導員たちが2時間半にわたり、熱心に指導を行った。講習指導を終えた西川さんは「とても勉強になりました。今回の経験とノウハウを地域に広めていきたい」と今後の抱負を語った。

講習会では冒頭、多くの参加者が見守る中、北海道警察旭川方面本部旭川機動警察隊の協力のもと白バイ隊による模範走行と講話が行われた。プライベートで講習会を訪れていた北海道警察本部交通企画課の笠谷氏はホンダの取り組みに大きな期待を寄せた。「北海道では今年、二輪車事故が急増しました。特に40、60代の中高年ライダーによる大型バイクの事故が顕著です。ホンダのような認知度の高いメーカーが地域の販売店、教習所や警察と連携して、こうした講習会を開催することは安全運転意識の向上に大きく寄与すると思います。交通事故の削減には、地域社会が連携し、多方面からの地道な活動の積み重ねが必要とされます。今後でもできる限り協力を続けていきたいと考えています」

講習会終了後、イベントを主催した北海道ホンダ販売(株)の松澤愛郎専務取締役は、今回の取り組みをこう振り返る。「ホンダの安全への取り組みを知ってもらおう良い機会になりました。参加してくれたお客様にも大好評で、今回講習会に参加できなかった方から次の機会があったらぜひ参加したいとの声も多数いただいたと思います。今後地域社会と連携し絆を深めながら活動を継続していきたいと考えています」。



北海道ホンダ販売(株) 専務取締役 松澤愛郎さん

講習会では午後1時にスタート。教習指導員たちが2時間半にわたり、熱心に指導を行った。講習指導を終えた西川さんは「とても勉強になりました。今回の経験とノウハウを地域に広めていきたい」と今後の抱負を語った。

講習会では冒頭、多くの参加者が見守る中、北海道警察旭川方面本部旭川機動警察隊の協力のもと白バイ隊による模範走行と講話が行われた。プライベートで講習会を訪れていた北海道警察本部交通企画課の笠谷氏はホンダの取り組みに大きな期待を寄せた。「北海道では今年、二輪車事故が急増しました。特に40、60代の中高年ライダーによる大型バイクの事故が顕著です。ホンダのような認知度の高いメーカーが地域の販売店、教習所や警察と連携して、こうした講習会を開催することは安全運転意識の向上に大きく寄与すると思います。交通事故の削減には、地域社会が連携し、多方面からの地道な活動の積み重ねが必要とされます。今後でもできる限り協力を続けていきたいと考えています」

講習会終了後、イベントを主催した北海道ホンダ販売(株)の松澤愛郎専務取締役は、今回の取り組みをこう振り返る。「ホンダの安全への取り組みを知ってもらおう良い機会になりました。参加してくれたお客様にも大好評で、今回講習会に参加できなかった方から次の機会があったらぜひ参加したいとの声も多数いただいたと思います。今後地域社会と連携し絆を深めながら活動を継続していきたいと考えています」。



苫小牧中野自動車学校 技能課長 技能検定員 西川直人さん

NEWS REVIEW

●東京都個人タクシー協同組合 小学校でHonda 自転車シミュレーターによる交通安全教室を開催



6月10日、東京都個人タクシー協同組合(以下、東個協)が東京都北区立神谷小学校で交通安全教室を開催した。

東個協は、約1万人の個人タクシー事業者が加入する団体で、都内に39の支部がある。東個協の木村忠義理事長は自転車教育に注力する背景を次のように語る。「社会的に自転車事故がクローズアップされている中で、私たちタクシー業界としても社会貢献の一環として、自転車利用者に安全運転を呼びかけていきたい

と考えていました。そこで今年、Honda自転車シミュレーターを2台導入し、これを活用した交通安全教室を始めました。各支部が地元の警察署と連携しながら、小学校などで活動を展開しています」。

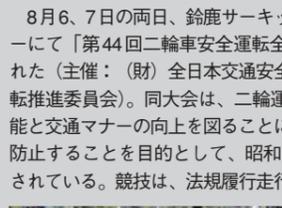
この日は、神谷小学校の体育館に2台の自転車シミュレーターを設置し、3年生38名、4年生62名を対象に、東個協・北支部の役員らが、自転車の安全な乗り方についての指導を行った。

また、東個協ではHondaドライビングシミュレーターも導入しており、こちらは高齢の個人タクシー事業者の安全運転教育に活用していく考えだ。



木村忠義理事長

●第44回二輪車安全運転全国大会 安全運転技能と交通マナーの向上をめざして



8月6、7日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センターにて「第44回二輪車安全運転全国大会」が開催された(主催：(財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会)。同大会は、二輪車運転者の安全運転技能と交通マナーの向上を図ることにより、交通事故を防止することを目的として、昭和43年から毎年開催されている。競技は、法規履行走行と技能走行。女性クラス(50cc)、高校生等クラス(50cc)、一般Aクラス(400cc)、一般Bクラス(750cc)の4クラスに分かれて、

全国44都道府県の代表選手174名が各クラスの個人賞と各クラスの得点を合計した総合得点で団体賞を競う。

大会2日目には、記念式典が国際レーシングコースにて開催され、出場選手全員によるパレードが行われた。大会成績は、団体優勝が千葉県、2位・東京都、3位・埼玉県。個人賞は、女性クラス・八木楓さん(福岡県)、高校生等クラス・高梨遼太郎さん(埼玉県)、一般Aクラス・菊池英雄さん(茨城県)、一般Bクラス・峯尾豪さん(東京都)が優勝した。女性クラスの八木さんは「初めての大会で優勝できたのは、関係者を含むチーム一丸となって取り組んできた結果。とても嬉しいです」と喜びを語った。